

# 地域公共交通計画の基本的な方針（案）等

## 1. 地域公共交通計画の基本的な方針（案）

上位・関連計画から本市において求められる公共交通サービス像を整理し、府中市地域公共交通計画の基本的な方針を検討した。

### 上位・関連計画

第7次府中市総合計画(案)【令和4年度～令和11年度】 策定中

基本理念：先人から受け継いだ貴重な財産を礎としながら、これからも市民が主役となり、誇りと愛着を持ってこのまちに住み続けることができるよう、まちづくりを進めます。また、時代や環境の大きな変化にも柔軟に対応し、お互いが連携・協力して地域の課題解決に取り組む、協働によるまちづくりを推進していきます。

都市像：きずなを紡ぎ 未来を拓く 心ゆたかに暮らせるまち 府中

基本目標：1 人と人が支え合い 誰もが幸せを感じるまち（保健・福祉）  
2 緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境）  
3 多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）  
4 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）

府中市都市計画に関する基本的な方針【令和3年度～令和23年度】 令和3年11月改定

将来都市像：きずなを紡ぎ 未来を拓く 心ゆたかに暮らせるまち 府中

基本目標：にぎわいと活力のあるまちづくり

②誰もが快適に移動できるまちづくり

幹線道路ネットワークの充実  
安全で快適な生活道路環境の形成

③公共交通ネットワークの維持・充実

交通結節点機能の充実

持続可能な公共交通ネットワークの形成

地域公共交通計画の策定、新たなモビリティサービス・新交通システムの調査研究、ちゅうバスの収入確保策の検討  
バス交通の利用環境の充実

ニーズや市街地の変化に合わせたバス利便性の向上、誰もが安全で快適に利用できるバス関連施設の整備促進

鉄道の利用環境の充実

鉄道軸の都市機能等の維持・充実、鉄道駅間の接続向上、案内表記・通信環境の充実、鉄道網の充実構想の促進、ホームドアの整備等

自転車の利用環境の充実

シェアサイクル等の活用、自転車走行空間の整備、駐輪施設の整備等

その他の関連計画

- ・府中市観光振興プラン
- ・府中市福祉計画
- ・府中市環境基本計画 等

### 基本的な方針（キーワード）

#### 誰もが自由に移動ができる

- ・交通弱者の移動の確保
- ・若者や子育て世代も移動しやすい交通環境
- ・来訪者も円滑に移動できる交通環境

#### まちづくりとの連携

- ・福祉や観光などの他分野と連動した公共交通
- ・まちの変化や新たな拠点と連動した公共交通

#### 持続可能な地域公共交通

- ・公共交通に対する財政負担の適正化
- ・市民、交通事業者等と共につくる公共交通
- ・脱炭素型社会の実現に寄与する公共交通

## 2. 計画目標（案）

前項までに整理した公共交通に関する課題や求められる公共交通サービス像を踏まえ、府中市地域公共交通計画の計画目標（案）を検討した。

### 上位・関連計画

- ・第7次府中市総合計画
- ・府中市都市計画に関する基本的な方針 など

### 基本的な方針（キーワード）

- 誰もが自由に移動ができる
- まちづくりとの連携
- 持続可能な地域公共交通

### 公共交通の問題・課題

市中心部への移動  
鉄道・路線バス・ちゅうバスの重複解消に向けた役割分担が必要

移動ニーズに合わせたちゅうバスの見直しが必要

中心市街地内の回遊性を高めるための検討が必要

地区内の移動  
日常生活圏内の公共交通の利便性が低い地域が存在

交通弱者の日常生活を支える交通サービスが必要

市縁辺部を中心に公共交通空白地域・不便地域が点在

地区間・市内外の移動  
最寄り駅まで公共交通で便利に移動しにくい地域が存在

市縁辺部において、隣接市の商業施設までの交通サービスが不十分

広範囲から利用が見込まれる施設が市中心部以外にも立地

公共交通の利用環境  
鉄道駅のバリアフリーやバスの待合環境などの改善が必要

市内の公共交通に関する情報が分散

利便性向上に向けたデジタル技術活用の検討が必要

脱炭素社会の実現に向けた取組の検討が必要

自転車の利用環境の改善が必要

### 計画目標（案）

#### 市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する

鉄道・路線バス・コミュニティバス等の連携・役割分担により中心部への移動を確保する  
中心部での移動しやすさ、回遊性の向上を図る

#### 日常生活圏内における生活・移動をより便利にする

日常生活を支える圏内の移動手段の充実に向け、身近な生活の利便性の向上、地区内の交流・経済活動の促進を図る。  
公共交通空白・不便エリアにおける最適な移動手段を検討する。

#### 地区間や市外への移動の利便性を維持向上する

鉄道駅を中心とした鉄道・バス等の交通ネットワークと交通結節点での各モード間の連携・接続を図る。  
隣接市との連携による市外への買い物等の利便性向上を図る。  
市内の主要拠点へのアクセス性向上を図る。

#### 年齢やライフステージ・身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする

子どもから若者、高齢者、子育て世帯、軽度者・要介護認定者、障害者、外国人など、あらゆる市民へ必要な移動サービスを提供する。

#### 誰もが安心・快適に移動できるようにする

鉄道駅におけるホームドア整備などバリアフリー化を推進する。  
安全・安心で分かりやすく快適な待合環境を提供する。  
デジタル技術の活用により、公共交通サービスの利便性の向上を図る。

#### 交通サービスを将来に渡り提供できるようにする

財政負担とサービス充実の両立を図る。  
厳しい経営状況（コロナ、乗務員不足含む）に置かれている地域公共交通の中長期的なサービス維持を図る。  
脱炭素社会の実現に寄与する公共交通サービスの展開、市民の意識啓発を図る。  
まちづくりや福祉分野との連携を図る。

### 3 . 市内公共交通ネットワークの基本的な考え方（案）

公共交通に関する課題や計画目標を踏まえ、市内の公共交通ネットワークの基本的な考え方を次のとおり整理した。

#### 市内公共交通ネットワークの基本的な考え方

鉄道駅を中心とした利便性の高い交通ネットワークの維持・改善

府中市内の鉄道駅は、市民の日常生活の中心となっており、鉄道駅を中心とした公共交通ネットワークも充実している。このことから、今後も公共交通ネットワークを維持し、需要に応じて改善することで、市民生活を支える公共交通ネットワークの実現を図る。

#### 市内公共交通の階層の考え方

	位置づけ	該当する公共交通
広域交通	市内外を繋ぐ広域的な公共交通	鉄道、高速バス、路線バス
地区間交通	市内の地区間、各地区と市中心部を繋ぐ公共交通	鉄道、路線バス、ちゅうバス、タクシー
地区内交通	日常生活圏域内等の身近な生活を支える交通	路線バス、ちゅうバス、タクシー、シェアサイクル等
基幹交通軸	広域交通または地区間交通のうち、市中心部へのアクセス性が高い区間	

#### 市内公共交通の公共交通拠点の考え方

	位置づけ	該当する拠点	都市マスとの関係性
中心拠点	市内各所からのアクセス性に優れ、多様な交通モードに乗り換えることができる交通拠点	府中駅・府中本町駅周辺	まちづくり方針図に示される「中心拠点」内にある交通拠点
地区内交通拠点	日常生活圏内の広域交通・地区間交通・地区内交通に乗り換えることができる交通拠点	多磨駅周辺、多磨霊園駅周辺、東府中駅周辺、分倍河原駅周辺、中河原駅周辺、西府中駅周辺、北府中駅周辺、白糸台駅周辺、武蔵野台駅周辺、是政駅周辺、多摩メディカル・キャンパス周辺、府中の森公園・府中基地跡地留保地周辺	まちづくり方針図に示される「地域拠点」「日常生活拠点」「広域医療拠点」「にぎわい活力拠点」内にある交通拠点
モビリティハブ	地区内の生活施設等を核とし、複数の地区内交通を利用することができる身近な交通拠点	文化センター、コンビニ、ドラッグストア等	-

■にぎわいと活力のあるまちづくり方針図

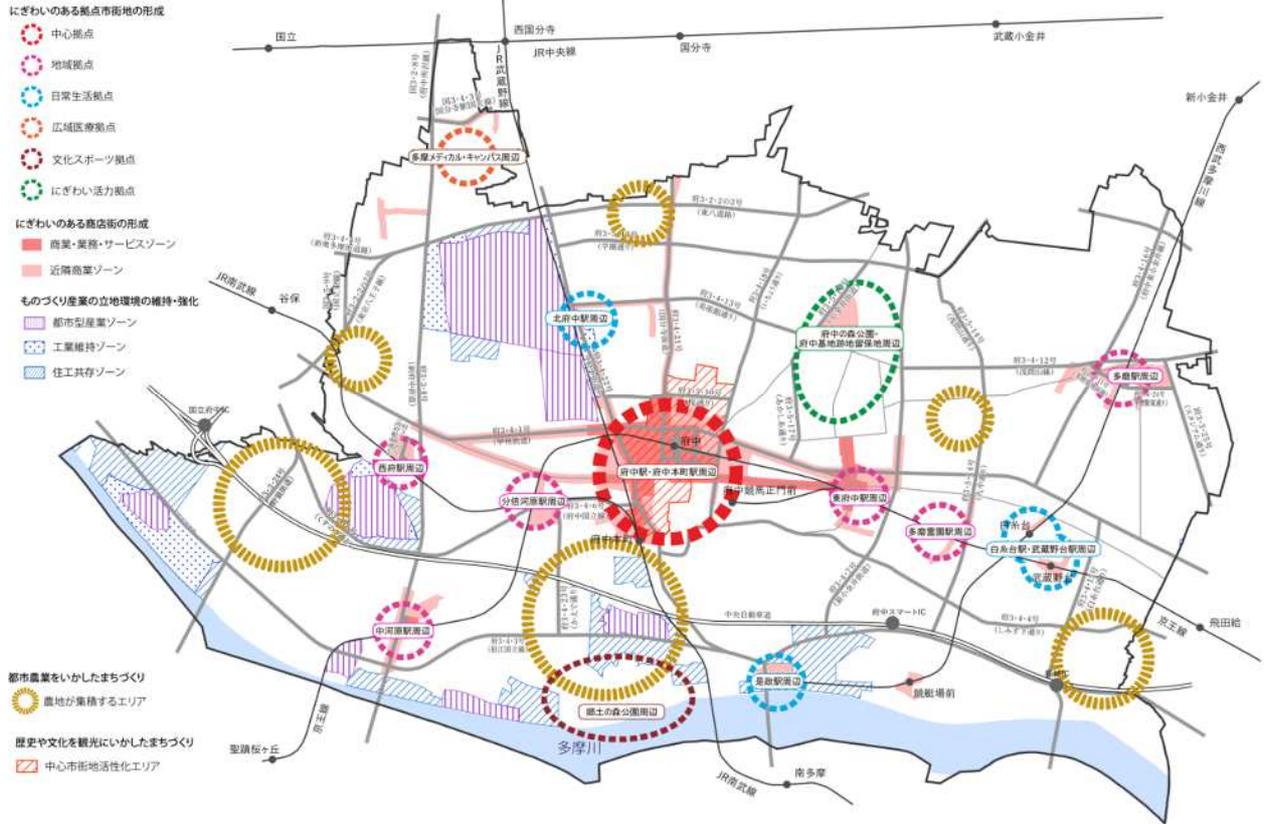


図 にぎわいと活力のあるまちづくり方針図(府中市都市計画マスタープランより)

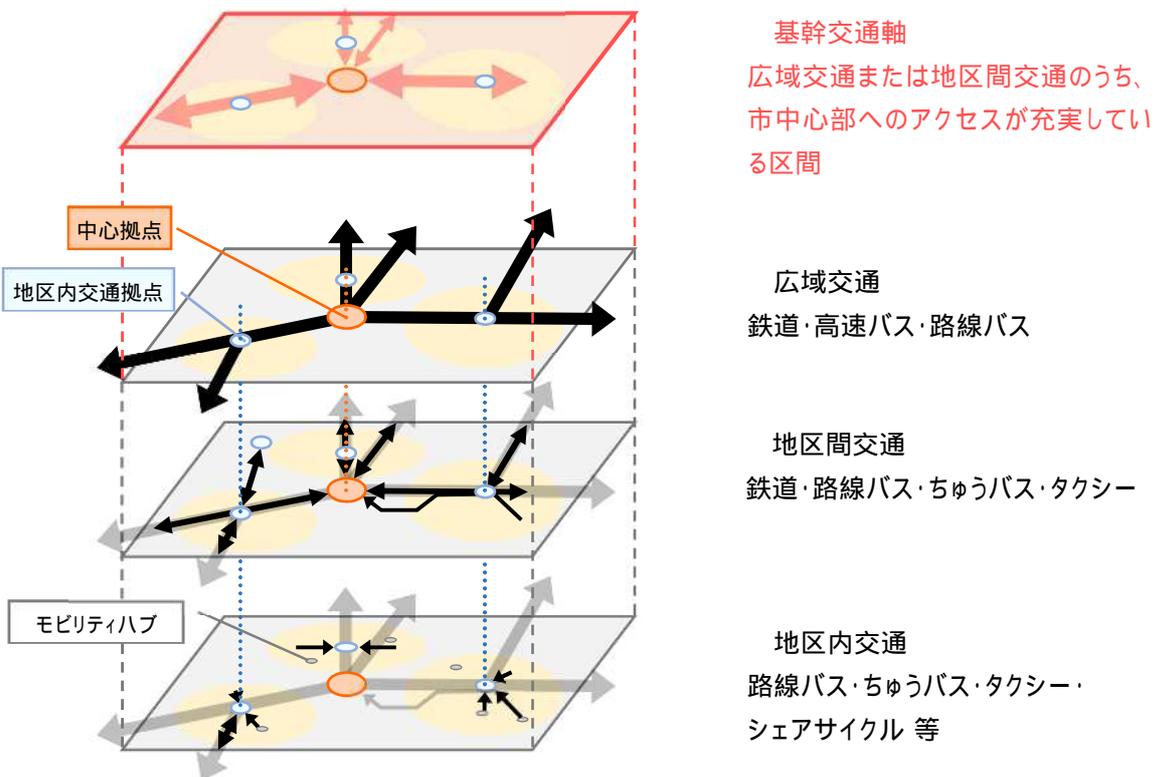


図 府中市の公共交通の階層的なネットワーク(イメージ図)

## 4 . 市内の公共交通のサービス領域の考え方（案）

市内の公共交通サービス領域の考え方を以下のとおり整理した

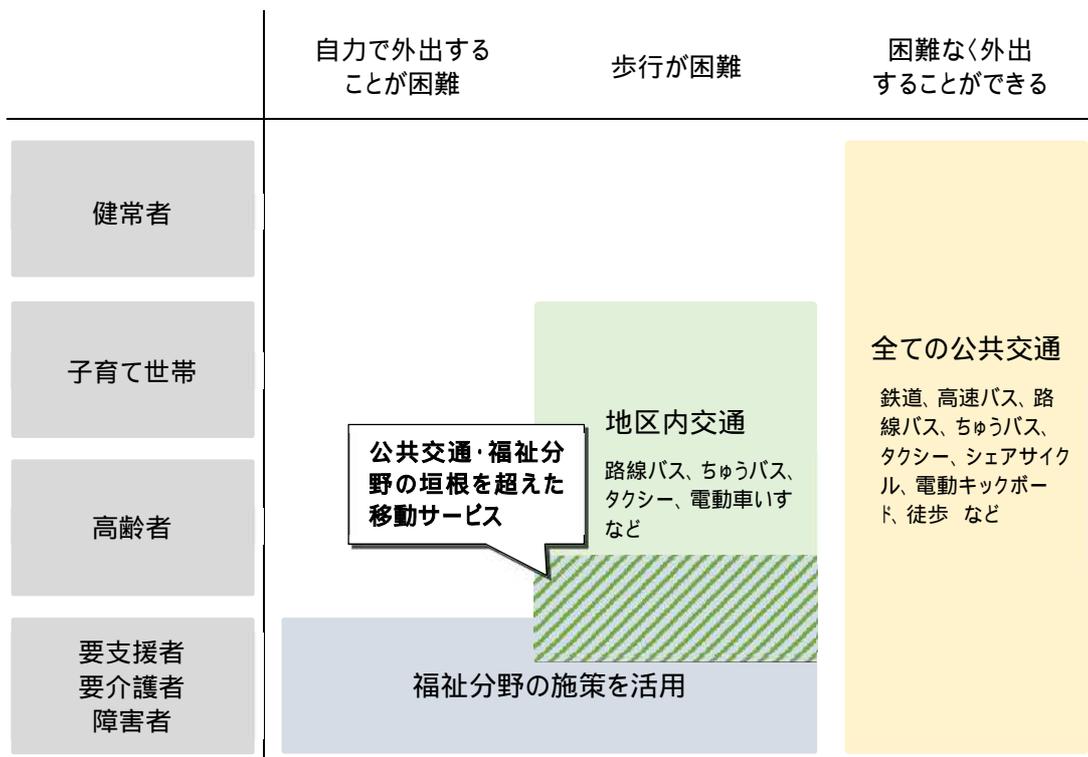


図 市内公共交通のサービス領域(案)

## 5. 計画体系

前項までの検討内容を踏まえ、計画体系を整理した。

### 上位・関連計画

#### 第7次府中市総合計画 策定中

都市像 : きずなを紡ぎ 未来を拓く 心ゆたかに暮らせるまち 府中  
基本目標 4: 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち

#### 府中市都市計画に関する基本的な方針

基本目標 : 誰もが快適に移動できるまちづくり  
公共交通ネットワークの維持・充実 など

### 計画の基本的な方針（案）

#### 誰もが自由に移動ができる

- ・交通弱者の移動の確保
- ・若者や子育て世代も移動しやすい交通環境
- ・来訪者も円滑に移動できる交通環境

#### まちづくりとの連携

- ・福祉や観光などの他分野と連動した公共交通
- ・まちの変化や新たな拠点と連動した公共交通

#### 持続可能な地域公共交通

- ・公共交通に対する財政負担の適正化
- ・市民、交通事業者等と共につくる公共交通
- ・脱炭素型社会の実現に寄与する公共交通

### 市内公共交通ネットワークの基本的な考え方（案）

鉄道駅を中心とした利便性の高い交通ネットワークの維持・改善

広域交通 : 市内外を繋ぐ広域的な交通（鉄道、高速バス、路線バス）

地区間交通 : 市内の地区間、各地区と市中心部を繋ぐ公共交通（鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー）

地区内交通 : 日常生活圏域内等の身近な生活を支える交通（路線バス、コミュニティバス、タクシー、新たな交通手段）

基幹交通軸 : 広域交通または地区間交通のうち、市中心部へのアクセス性が高い区間

### 市内公共交通のサービス領域の考え方（案）

健常者だけでなく、高齢者や要介護者、子育て世帯等の交通弱者に対して最適な交通サービスを提供する。福祉分野との連携による交通弱者への移動手段確保を検討する。

### 公共交通の問題・課題

#### 市中心部への移動

鉄道・路線バス・ちゅうバスの重複解消に向けた役割分担が必要  
移動ニーズに合わせたちゅうバスの見直しが必要  
中心市街地内の回遊性を高めるための検討が必要

#### 地区内の移動

日常生活圏内の公共交通の利便性が低い地域が存在  
交通弱者の日常生活を支える交通サービスが必要  
市縁辺部を中心に公共交通空白地域・不便地域が点在

#### 地区間・市内外の移動

最寄り駅まで公共交通で便利に移動しにくい地域が存在  
市縁辺部において、隣接市の商業施設までの交通サービスが不十分  
広範囲から利用が見込まれる施設が市中心部以外にも立地

#### 公共交通の利用環境

鉄道駅のバリアフリーやバスの待合環境などの改善が必要  
市内の公共交通に関する情報が分散  
利便性向上に向けたデジタル技術活用の検討が必要  
脱炭素社会の実現に向けた取組の検討が必要  
自転車の利用環境の改善が必要

### 計画目標（案）

#### 市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する

鉄道・路線バス・コミュニティバス等の連携・役割分担により中心部への移動を確保する。中心部での移動しやすさ、回遊性の向上を図る。

#### 日常生活圏域内における生活・移動をより便利にする

日常生活を支える圏域内の移動手段の充実に向け、身近な生活の利便性の向上、地区内の交流・経済活動の促進を図る。  
公共交通空白・不便エリアにおける最適な移動手段を検討する。

#### 地区間や市外への移動の利便性を維持向上する

鉄道駅を中心とした鉄道・バス等の交通ネットワークと交通結節点での各モード間の連携・接続を図る  
隣接市との連携による市外への買い物等の利便性向上を図る。  
市内の主要拠点へのアクセス性向上を図る。

#### 年齢やライフステージ・身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする

子どもから若者、高齢者、子育て世帯、軽度者・要介護認定者、障害者、外国人など、あらゆる市民へ必要な移動サービスを提供する。

#### 誰もが安心・快適に移動できるようにする

鉄道駅におけるホームドア整備などバリアフリー化を推進する。  
安全・安心で分かりやすく快適な待合環境を提供する。  
デジタル技術の活用により、公共交通サービスの利便性の向上を図る。

#### 交通サービスを将来に渡り提供できるようにする

財政負担とサービス充実の両立を図る。  
厳しい経営状況（コロナ、乗務員不足含む）に置かれている地域公共交通の中長期的なサービス維持を図る。  
脱炭素社会の実現に寄与する公共交通サービスの展開、市民の意識啓発を図る。  
まちづくりや福祉分野との連携を図る。

### 施策の方向性（キーワード）

基幹交通軸の維持

検討中

日常生活圏域内の移動を支える最適な移動手段の検討

多様な交通サービスの有機的な連携

交通・福祉等の分野の垣根を越えた取組の検討

誰もが迷わず分かりやすい情報の提供

アフターコロナを見据えた持続可能な交通サービスのあり方の検討